

指定管理者制度の現状と課題は

質問 指定管理者制度の現状と課題を問う。

市長 指定管理者制度を活用した市内の施設は平成18年度の78施設から今年度145施設に増えた。施設の中には補助金等を活用して整備した農村公園や集会施設も公の施設として条例で定めている。特定の地域の利用に限定されている施設については、地元への移譲や貸付を検討したい。今のところ指定管理者からの辞退はないが、受託者がいない場合は条例廃止の上、普通財産にし処分も在り得る。

異常気象による

農作物被害対策

質問 農作物被害が予想されるが市の対応を問う。

市長 水稻の登熟に遅れは見られるが稔実不良は見られないと聞いている。両農協では低温対策緊急情報を提供しながら営農指導を行っている。仮に被害が出た場合は過去の事例を参考に対策に取り組みたい。



とみおか 富男 議員(市民クラブ)

農業版総合計画と 政策ガイドの作成

質問 本市農業の将来像を示す農業ビジョンの策定と農業施策を網羅した農業向けガイドを作成する考えは。

市長 年度内に農業団体等と協議・検討しながら、先進事例等を参考に平成30年度中に作成したい。



喜びの出来秋も今年は登熟不良に不安が

有識者会議へ三師会の参加を 得るべく努力を

質問 新市立病院建設問題に関し、市民等からの様々な意見や行動がある。

私は、これらの見解は、各々の立場からの貴重なご意見として今後注目していきたい。しかし一方では、耐震上も重大な問題を抱えている水沢病院の現状を考えたとき、新病院建設の是非は、できるだけ早く方向性を見出すべきだ。また、合併市という特質をも踏まえ、市民に対する丁寧な説明と対応も重要だ。私はこの間、地域医療構想を担う県や医科大学、地元医師会や2県立病院、市民の理解を得られるよう、最大の努力と配慮を指摘してきた。

三師会の方々に、一日も早く有識者会議にご参加いただくよう、一層の努力をすべくと考える。市長には、「市民や地域が必要とする医療を守る、確保する」という立場で、この問題に向き合ってほしい。

市長 新市立病院建設については、その機能や規模の方向性を示す新市立病院建設基本構想、建設計画の策定を進めている。現在までに基本構想の前段までの協議が進んでおり、今後有識者による検討委員会等に諮る。三師会に



耐震診断で『危険』とされた水沢病院

は、有識者会議に参加いただけるよう誠心誠意お願いしていく。
病院事業管理者 新市立病院建設構想・基本計画を作成する策定委員会は順調に進んでいる。



いわがわ 及川 善男 議員(日本共産党)